

平成 28 年度 第 4 回長野市総合計画審議会 会議録

日 時：平成 28 年 11 月 25 日（金） 午後 2 時から

場 所：第一・二委員会室（第一庁舎 7 階）

出席者：委 員/ 三浦会長、園原副会長、有澤委員、池田委員、上野委員、碓井委員、金井委員、白石委員、滝沢委員、藤森委員、堀江委員、本間委員、増山委員、山口委員

長野市/ 小川総務部長、増田企画政策部長、平野財政部長、竹内市民生活部長、田中保健福祉部長、上杉こども未来部長、井上環境部長、久保田商工観光部長、倉石文化スポーツ振興部長、西島農林部長、上平建設部長、轟都市整備部長、島田駅周辺整備部長、松本教育次長（行政）、熊谷教育次長（教育）、戸谷上下水道局長、瀧澤消防局長、西澤危機管理防災監

事務局/（企画課） 倉島課長、花立主幹、小川係長、轟係長、佐久間係長、竹内主査、宮坂主査、奥田主査、白澤主事

（人口増推進課）藤橋課長、川上補佐、関谷係長

1 開会

（事務局）

定刻になりましたので、これより長野市総合計画審議会を開会いたします。

企画課の花立です。よろしくお願いいたします。本日の資料は、事前にお送りいたしました、次第、総合計画答申案、前回いただきましたご意見への対応表、アンケート調査結果報告と昨年度実施しました市民意見聴取結果の計画への反映状況を表にしたものとなります。また、本日机上に配付しました総合計画の概要版となりますので、ご確認をお願いします。

また、本日は川北委員、塚原委員、寺内委員、柳沢委員、山浦委員からご欠席のご連絡をいただいておりますのでご報告いたします。それでは三浦会長からあいさつを申し上げます。

2 会長あいさつ

（三浦会長）

みなさんこんにちは。おかげさまでここまですることができました。これまでご苦勞いただいた委員の皆さま、市の関係者の皆さまありがとうございました。これでパブコメになると思いますが、だいぶきれいに整ってきたと思っています。あまり時間はありませんが、本日もご審議をお願いいたします。

3 議事

(事務局)

それでは、審議に移らせていただきますが、議長につきましては、三浦会長にお願いします。なお、審議時間ですが事務局としましては午後3時頃にはと思っています。よろしくお願いたします。

(三浦会長)

それでは、議事に入ります。

議事の(1)の第五次長野市総合計画 基本構想(答申案)について、事務局から一括して説明をお願いします。

(事務局)

企画課の倉島でございます。それでは、昨年実施の国勢調査結果(確定値)に基づく人口推計の推計、いくつかの分野での修正について説明いたします。

— 資料に基づき説明 —

以上で説明を終わります。

(三浦会長)

分野の修正については、作業部会での議論を踏まえてのことと思いますので、これでいいのかなと思いますが、人口推計に関しては、速報値が発表された時に上ブレしていると報告がありました。

今回は、確定値が発表されたことに伴う差し替えということのようですが、何か質問しておきたいことはありませんか。

これをもって、いわゆるパブリックコメントを実施していくことになるわけですが、よろしいでしょうか。異議なしということでこれで進めていきたいと思います。

では、議事(2)ですが、前期基本計画(答申案)について事務局から説明してください。

(事務局)

それでは(2)第五次長野市総合計画 前期基本計画(答申案)についてご説明いたします。

— 資料に基づき説明 —

私からの説明は以上です。

(三浦会長)

ありがとうございました。膨大な資料でしたが、短時間にまとめていただきました。それから、前回ご提案があった様式変更については、反映されていて見やすくなったように思います。

ここも、分野の修正については、作業部会での議論を踏まえてのことと思いますので、これでいいのかと思いますが、アンケート指標の目標に関することと、主な取組の関連表示については、今回は初めてだと思います。

続いて本日お配りいただきました概要版についても説明をお願いいたします。

(事務局)

それでは、概要版をご覧ください。パブリックコメント用に、イラスト等を入れながらできるだけ分かりやすくまとめたものでございます。修正案等ございましたら、ご意見をいただきたいと思っております。

(三浦会長)

パブリックコメントが12月5日からですので、まだ時間はありますが修正案等ございますでしょうか。ないようですので、このまま進めていきたいと思っております。

それでは次に移ります。前回の審議会で白石委員から「第四次計画の都市整備分野に記載されている『多核心連携』の文言を第五次計画にも盛り込んでほしい」との松代のご意見をご紹介いただきました。作業部会ではご議論いただいたと聞いておりますが、柳沢先生がご欠席のようですので、代理として事務局から経過の報告をお願いします。

(事務局)

本日は柳沢部会長、寺内副部会長がご欠席ということで、柳沢委員から多核心連携に関する検討経過の報告文書を預かっておりますので、読ませていただきたいと思います。それでは、10月31日開催の都市整備・土地利用分野作業部会での検討経過を報告いたします。

「多核心連携」というのは、集中しすぎた中心部の都市機能の一部を、市街地周辺部や郊外、具体的には篠ノ井、松代や北長野などに副都心のような核を形成して、幹線道路などでつなげるもので、第五次計画における「拠点」を公共交通などの「ネットワーク」でつなぐことと同じ考え方であります。

少子・高齢化、人口減少が進行した社会構造に対応するため、今まで以上に「コンパクト」＋「ネットワーク」という考え方が重要になってきております。

基本的な考え方は第四次計画と変わりありませんが、第五次計画ではこれ以上、市街地が郊外に広がらないように、都市拠点エリアに都市機能を集約するとともに、拠点エリアの都市機能が相互が補完できるように公共交通軸で結ぶまちが実現できるよう、第四次計画を発展させた考え方となっております。

部会では、こうした考え方を確認するとともに、「コンパクト」や「ネットワーク」という文言は、基本構想における都市整備分野の「目指す方向」で端的に記載されていることを要望者に伝えるよう助言したところであります。

このような審議を経まして、結論といたしましては「多核心連携」という文言を用いるのではなく、本日お示しした（案）のとおり「拠点」、「コンパクト」そして「ネットワーク」という考え方をを用いて都市整備の方向性を表現することとしたものです。

以上です。

（三浦会長）

ありがとうございました。白石委員、いかがですか。

（白石委員）

ありがとうございました。

（三浦会長）

何か委員の皆さまから他にご意見等ございますか。

（金井委員）

これまで時間をかけてやってきまして、当初は皆さんこの総合計画に対して夢を描きながら意見を出してきたと思いますが、現実近づいてきたのではないかと思います。ただ、まとまったからには、これをどうやって活かしていくかというのが、非常に重要になってくると考えます。この総合計画は誰のためのものなのか、と考えた時に小池都知事の言葉を借りると「市民ファースト」ということになると思います。そして市民の協力がなくては総合計画は実現しないだろうと思います。

そこで、この総合計画の中で市民が何をしなければいけないか、完結に伝えることはできないか考えまして、先ほどご説明いただいた概要版を全戸に配って市民に周知すると同時に、市民の皆さんにはこのように協力してもらいたい、ということをお願いしたらどうでしょうか。そして、小学生にも理解できるようにマンガチックに作った方がいいと思います。

市民の皆さんが、自分たちにはどのような参加の仕方があるのか、常に考えてもらえるように事あるごとに告知できる仕組みがほしいと思いました。

(事務局)

非常にありがたいご提案だと思います。今回は「幸せ実感都市『ながの』～“オールながの”で未来を創造しよう～」をまちの将来像に掲げていますので、市民の皆さんのご協力なくしては総合計画の実現はできません。その第一歩として、知ってもらおうということは重要であると思っています。子ども向けにも作りたいと考えておりますが、まだ何も決まっていない状態なので告知の方法も含めて検討させていただきたいと思います。

(三浦会長)

リーフレットをダウンロードできるようにするなど、工夫してほしいと思います。

(事務局)

ホームページには掲載する予定ですが、ダウンロードできない方もいるかと思うので、こちらも検討したいと思います。

(三浦会長)

細かな字句の訂正等については事務局にらせていただきますが、他に何かございますでしょうか。よろしければご了承いただいたということで、次に移らせていただきます。
議事(3) その他について事務局よりお願いいたします。

(事務局)

(3) その他といたしまして、三点お願いいたします。一点目はながの未来カフェについてです。お手元の資料をご覧ください。

— 資料に基づき説明 —

二点目は市民意見聴取結果についてです。別冊資料をご覧ください。

— 資料に基づき説明 —

三点目は9月に実施いたしました、アンケート結果についてです。速報は既にご報告してありますが、今回は細部にわたる結果の報告でございます。アンケート調査結果についての資料をご覧ください。

— 資料に基づき説明 —

以上三点についてご説明いたしました。私からは以上です。

(三浦会長)

ありがとうございました。質問やご意見等ございますでしょうか。

(滝沢委員)

ながの未来カフェについてですが、懸念しているのが今日の新聞に載っていたような方、市が意図するような方が来ていただければ有意義な意見交換ができると思いますが、そういう方やこの総合計画に賛成している方は来ないんじゃないでしょうか。何か物申したい人がほとんどだと思います。市民意見聴取結果の資料を見ますと、具体的な意見がたくさんあります。カフェで意見交換をして納得していただければいいのですが、そうでない方が多いと思います。そのような場合、企画課の方は方向修正していただけるのでしょうか。また、具体的な提案をいただいた場合はどのように答えていけばいいのか教えていただきたいと思いました。

(事務局)

その場で結論は出しません。しかし、市民の皆さんも具体的な提案や不満を持ってくる方もいるかと思えます。その場合はご意見としてうかがって、関係課と調整してどうやって実現させていくのか回答していこうと考えております。その場では企画課の職員がお話しさせていただきますが、話し合いがまとまらない場合はすぐに助けにいきますのでご安心ください。

(山口委員)

参加された方から、委員自身の意見を問われたらどうすればいいでしょうか。

(事務局)

その場合は、審議会や作業部会で検討してきた経過をご説明いただきたいと思います。

(三浦会長)

ありがとうございました。他にはよろしいでしょうか。それではここで議事を終了いたします。今後もアンケート等検討していくべきことがありますので、引き続きよろしく願いいたします。また、12月10日の未来カフェについてもご協力お願いいたします。それではマイクをお返しいたします。

(事務局)

ありがとうございました。

今お話しいたしました未来カフェについては、ご出席いただける委員の皆さんにはご案内を送ってございますので、よろしく願いいたします。

次回の日程について申し上げます。2月10日(金)午後4時から庁議室で開催する予定です。また、審議会の後には懇親会を予定しております。後日出席の確認を別途通知させていただきますので、是非ご出席ください。

それでは、以上を持ちまして審議会を閉会いたします。ありがとうございました。